

# 令和7年度(2025年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市立嘉瀬小学校	児童数	271 人
-----	-----------	-----	-------

## I.取組前の宣言内容

宣 言	目 標	本に恋するわたしたち（読書好き育成プロジェクト）
	取組期間	令和 7 年(2025 年) 4 月 1 日 ～ 令和 7 年(2025 年) 7 年 1 1 月 3 0 日

※令和 7 年(2025 年)4 月 1 日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和 7 年(2025 年)11 月 30 日までの取組みとする。

## Ⅱ.取組後の評価

評価	取組人数	271 人	実施日数	244 日	読書冊数	39028 冊	連携した団体数	53 団体
	取組内容 (概要)	<p>1. 図書館環境を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間図書館資料購入計画を立てる（3 か年計画…今年度は 1 年目）</li> <li>・面出し配架を積極的に行う</li> <li>・掲示物等のみなおし</li> </ul> <p>2. 図書の時間の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の関連本や教科書に掲載された本をクラスへ貸出。</li> <li>・図書の授業で読み聞かせ</li> <li>・ラベルの学習</li> <li>・電子図書館の使い方学習</li> </ul> <p>3. 図書館に親しむための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントカードの導入</li> <li>・オリジナル図書貸出カードのお楽しみを導入</li> <li>・新聞配架の工夫</li> <li>・図書委員会活動</li> </ul> <p>4. 関係機関との連携した取り組み</p> <p>5. 夏休みの図書館活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みのお楽しみ導入</li> <li>・読書感想文の書き方プリント作成</li> <li>・夏休みの宿題に関連した書籍をレファレンス・展示</li> </ul> <p>6. 読み聞かせボランティアとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読の時間に月に 2 回、読み聞かせを行う（毎月：第 2・第 4 木曜日）</li> </ul>						
	工夫したこと	<p>1. 図書館環境を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書が今年度より新しくなり、掲載されている本の 3 分の 1 程度しか所蔵が無い状態だった。また、所蔵がある本は傷みが激しく再購入の必要があった。今年度より 3 か年計画で教科書に掲載されている本の所蔵を増やすようにした。</li> <li>・辞書が古く教科書掲載分をカバーできていないと判断し、再購入を行った（クラス人数分）。</li> </ul>						

	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校がリニューアルしたばかりで書架はきれいだが、全て背表紙のみ見える配架だったため、書架に余裕があるスペースや低い棚の上を展示スペースとし面出しを行い、見やすくした。</li><li>・掲示物が多く乱雑に見えやすいため、配置を決めて案内板を作成した。</li></ul> <p>2. 図書の授業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各教科の関連本や新聞の切り抜き、リーフレットを用意し、ブックトラックやコンテナで学級や学年に貸出を行い、教科に深みをもたせた。</li><li>・図書の授業に入ったクラスへ読み聞かせを導入に行い、ブックトーク等も行った。</li><li>・自分が読みたい本がどこにあるのか理解できるよう、ラベルについての学習を何度も行った。</li><li>・電子図書館利用のリーフレットを作成し、図書の授業等で使い方を学習した。</li></ul> <p>3. 図書館に親しむための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ポイントカードを発行し、貸出1回につき1ポイント押印。20ポイント毎に貸出券1枚贈呈。</li><li>・500冊借用すると自分でオリジナルの貸出カードを作れるようにした。</li><li>・大人用新聞（2F）と子ども新聞（1F）の場所がばらばらだったため、図書館前に設置した。</li><li>・図書委員会による図書館祭りやその他のイベントを行い、図書館利用を活発化させた。</li></ul> <p>4. 関係機関との連携した取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・他校や市立図書館と資源を共有することで、授業等に必要な資料を正確かつ確実に用いることで、児童の知識・理解に努めた。</li></ul> <p>5. 夏休みの図書館活用</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・夏休みは貸出時のポイントを3倍に。夏休みのみ9ポイント毎にくじびき。</li><li>・読書感想文の書き方プリント・原稿用紙を学年に合わせて用意、配布した。</li><li>・夏休みに関連するおはなしの本の展示から宿題に関する本まで展示・レファレンスを行った。</li></ul> <p>6. 読み聞かせボランティアとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・朝読の時間に月に2回ボランティアさんによる読み聞かせを行っていただいた。</li></ul>
取り組んだ感想	<ul style="list-style-type: none"><li>・年々予算が減る中、学校図書館として学習センターの役割を果たしつつ魅力ある図書館にするためには予算配分を考え、学習本と子どもが読みたい本を同時購入。結果、子どもたちからの意見を取り入れつつ教科書掲載本も購入でき、子どもたちからの反応もよかった。</li><li>・電子図書館の利用が今まで無かったため、今年度は全学年にリーフレットを作成し配布。クラスの要望に応じて図書の時間に使い方を学習した。電子図書館を利用すると本校の貸出冊数が減るのはと懸念していた。7月時点では前年度比約-2100冊だったが、11月末現在では+881冊まで回復した。これは、ポイントカードや様々なイベント、肯定感が高められるよう声かけや働きかけが功を奏した結果だろう。</li><li>・読み聞かせボランティアはどの学校でも廃止傾向になる。そんな中、月に2回も来てくれることは本当にありがたい。本に触れる機会が増えることで読書意欲が高められているように感じる。</li><li>・本の感想を喜んで書く児童が多く、文字や文章の書き方指導にもつながった。</li></ul>
今後の取組予定 (令和7年(2025年)12月～令和8年(2026年)3月)	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校図書館として、読書だけでなく学習支援センターの役割や、心のケアが必要な児童に寄り添える第二の保健室のような役割を果たし、図書館や本を好きになる児童を増やしたい。</li><li>・読書をしない児童が読書をするように、文字が読めない児童も楽しめる本を購入する。読書好きな児童はもっと本の楽しさを知るように、イベントだけでなくレファレンスを行いたい。</li><li>・読み聞かせの時間やブックトークの時間を大切にすることで本の世界に入り込めるように読書の楽しさを伝えていきたい。また、選書の仕方や日本十進分類表を覚えることにより、読書だけでなく、学習に利用する本の探し方を理解し自分で学習を深めることができる児童に育てたい。</li></ul>

## 1. 図書館教育を整える

### 面出し配架

空いている空間に面出し配架することで貸出促進を行った。



### 本の展示・新聞切り抜き展示

高さの低い書架の上に季節に合わせた本の展示や新聞の切り抜き、新聞の内容に沿った本の展示をすることで貸出促進を行った。毎時間補充が必要なほど人気コーナー。随時 15 冊程度展示している。



案内表示を全部統一することで見やすくした。市立図書館の案内に関しては季節・スマホ登録の2種類を随時更新している。



新しい本のコーナー上部には入荷した本の一覧を一緒に展示。コーナーに無い本はこの一覧表を見て予約する児童もいる。また、どんな本を入れてほしいかリスニングしながら購入している。



### 季節の展示・環境整備

図書館正面に掲示し、貸出時に学年の目標冊数まで何冊か伝えている。また、50冊、100冊…と50冊単位まであと何冊か伝えて、頑張る気持ちを高めるようにしている。



季節の掲示物を毎月2種類作成し、そのうち1種類は季節の植物(名前も掲示)にして季節のものが何か覚えられるようにしている。月・暦も一緒に掲示している。







### どくしょの木

100冊達成する毎にリンゴの色が変わる。児童たちは自分の名前が貼られたり、リンゴの色が変わったりすることで自己肯定感を高めている。(貸出時に何冊か伝えている。)

### かせっこ本だなの木

各学年必読図書を設定し、20冊を借りて読んで感想を書き、司書から合格をもらおうと桜の花と名前が掲示される。全部読破した児童は桜に王冠がついている。児童たちは名前が貼られることを励みに頑張っている。



### ポスターコーナー

小学図書館ニュースをはじめ、ポスターが届いたらこのコーナーに集約して掲示している。



### 図書委員会の掲示

図書館内だけでなく、図書室入口にも図書委員の当番と一覧を写真と共に掲示し、責任感を持つと共に、利用者から質問を受けやすくしている。

## 2. 図書の時間の取り組み

1年1組	1年2組	2年1組	2年2組
ちこくのりゅう	おじさんのかさ	とのさまいちねんせい	とのさまいちねんせい
かぶとむしランドセル	ぼくのいえ	かんけり	ちこくのりゅう
おだんごパン	いちにおこめ	ちこくのりゅう	フライパンダ
おじさんのかさ		フライパンダ	おむすびさんちのたうえのひ
またおこられてん		キャベツがたべたいのです	おじさんのかさ
くれよんがおれたとき			またおこられてん
けっこんしき		おじさんのかさ	あててえな せんせい
なんとようひんてん		くれよんがおれたとき	ええところ
おふろ はいる?		またおこられてん	
どこいったん?		ちゅーちゅー	どこいったん?

### 図書の授業前、読み聞かせ・ブックトーク

授業前に読み聞かせを行い、関連本のブックトークを行っている。すぐに貸出につながっている。

### 佐賀市電子図書館を利用してみよう!

佐賀市立図書館の電子図書館を知っていますか?

みなさんが学習で利用しているタブレットで佐賀市立図書館の電子図書館を利用することができます。

利用方法は簡単! 学習用パソコンの児童生徒のログインID、パスワードを入力するだけです。

①佐賀市立図書館のホームページを開きます。

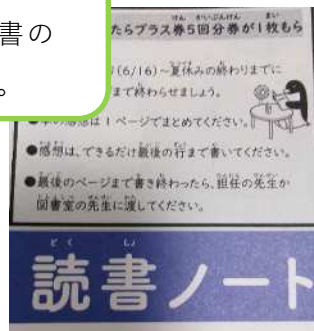
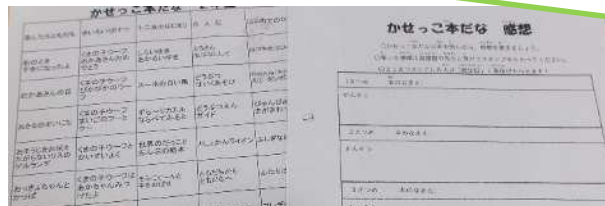
(ショートカットの作成やブックマークをすると便利です。)

### 電子図書館のリーフレット作成・配布

今年度の年間学習計画の中に電子図書館利用をカリキュラムに入れてもらい学習。学習後、電子図書館を利用できるようになり便利になった。

### 必読図書・読書ノート

それぞれ感想を書いたら提出。どちらも司書の合格が必要。文章力が上がるように添削した。



年間貸出冊数目標：80きつ

月	貸出冊数	達成率
1月	10	12.5%
2月	15	18.75%
3月	20	25%
4月	25	31.25%
5月	30	37.5%
6月	35	43.75%
7月	40	50%
8月	45	56.25%
9月	50	62.5%
10月	55	68.75%
11月	60	75%
12月	65	81.25%
合計	400	100%

達成率 97.5%

※月の貸出冊数が目標の80%以上なら表彰します。

### 毎月担任に配布する貸出冊数記録

月・累計冊数の貸出冊数記録を配布。目標冊数に達すると右に○が。クラスの達成率と0冊児童に指導依頼を記載している。

## 3. 図書館に親しむための取り組み

### ポイントカード

1回貸出につき（1日1回まで）1ポイント押印。Pに来たらプラス券をプレゼント。励みになっている。

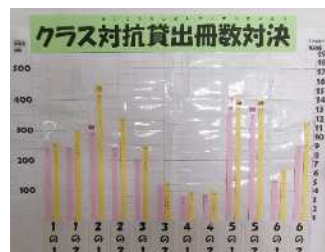
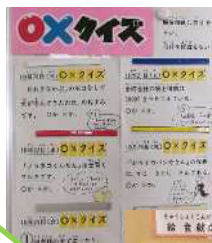


### 新聞

同じ階の同じ場所に展示することで読んでいる児童が増えた。また、受験に使える記事も紹介した。



じゃんけん大会



くじびき

### 図書館まつりイベント

図書委員会を中心とし、イベントを開催。20分休み、昼休みともに貸出が多く、大変賑わった。図書館まつりでもらったプラス券により、通常図書館まつり終了後の体育大会練習期間は貸出冊数が低下するが、むしろ増加した。



給食コラボ



図書館まつり全体の様子

## 4. 関係機関との連携した取り組み、5. 夏休みの図書館活用

R6年度資源共有利用年間 340冊→R7年度資源共有利用 11月末まで 319冊利用。この調子だと今年度は前年度利用を上回ると考えられる。（右下借用本展示の様子写真）

夏休みは市立図書館の本を置いていた場所に夏休みの宿題関連本を同じブックトラックに集めて借用しやすく案内板も作成した。また、通常利用しているポイントカードを夏休みはスタンプの色を換えて押印。9ポイント毎にくじ引きを行い、夏休みも楽しみにしている児童が増え、貸出が増えた。

## 6. 読み聞かせボランティアとの連携



### お礼状募集

12月のおはなし会で  
お渡しするお手紙

### 平和学習

平和学習ではボ  
ランティアさん  
による読み聞かせ  
を。パワーポイン  
トを利用した。



市立図書館借用本（自由に借用可能に）